

シカ等による森林被害緊急対策事業

【令和3年度予算概算決定額 129（160）百万円】

<対策のポイント>

シカ被害の甚大化を防止するため、**林業関係者によるシカの捕獲効率向上対策**を講じるとともに、捕獲や生息状況把握の省力化、効率化など、効果的なシカ被害対策を実施していく上で特に有効な**ICT等を活用した新たな捕獲技術等の開発・実証**を実施します。また、シカ被害が深刻な奥地天然林等において、**国土保全のためのシカ捕獲事業**を実施します。

あわせて、近年顕在化しつつある**ノウサギ食害の深刻化を防ぐ**ため、対策の検討を行います。

<事業目標>

効率的・効果的な野生鳥獣害対策手法を林業関係者へ導入。

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. シカ捕獲効率向上対策事業 18（-）百万円

○ **林業関係者によるシカの捕獲効率向上のために**、狩猟熟練者の技能や最新の捕獲技術等の活用による**捕獲技術の導入**を図ります。

2. ノウサギ被害対策検討事業 11（-）百万円

○ 顕在化しつつある**ノウサギ食害に対する効果的・効率的な防御や捕獲等の対策手法の検討**を実施します。

3. シカ被害対策技術実証事業 20（20）百万円

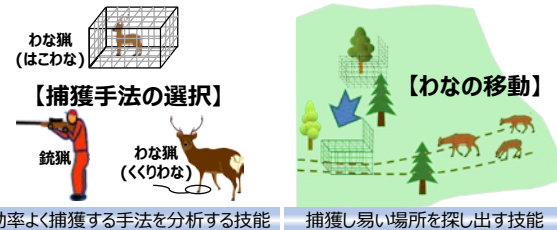
○ 効果的なシカ被害対策を実施していく上で特に有効な**ICT等を活用した新たな捕獲技術等の開発・実証**を実施します。

4. 国土保全のためのシカ捕獲事業 79（84）百万円

○ 森林の持つ国土保全機能の維持増進を図るため、**国有林野内の奥地天然林等においてシカの行動把握調査等に基づく効率的なシカ捕獲**を実施します。

〔シカ捕獲効率向上対策事業〕

➤ 捕獲効率向上のために、実用化した**新技術の活用**、**捕獲手法・捕獲場所の選択**といった狩猟熟練者の**“勘どころ”技能**について、**実践・技術導入**を行います。



効率よく捕獲する手法を分析する技能 捕獲しやすい場所を探し出す技能

〔ノウサギ被害対策検討事業〕 ノウサギ食害は1980年代後半を境に減少し、近年100ha前後で推移しているが、防除の知見と労務の不足が懸念されており、捕獲熟度を要さない**新たな対策手法**が必要。

〔ICT等を活用した新技術の開発・実証〕

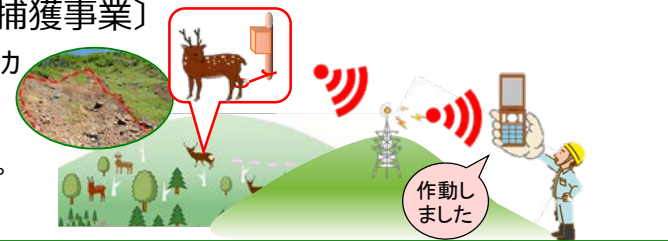
➤ 赤外線センサーを搭載したドローン等によるシカ生息状況の把握や、ICTやAIを活用した**効率的な捕獲手法**などの新技術について、**開発・実証**を行います。



赤外線センサーによる群れの探査 ICT・AIを活用した効率的な捕獲

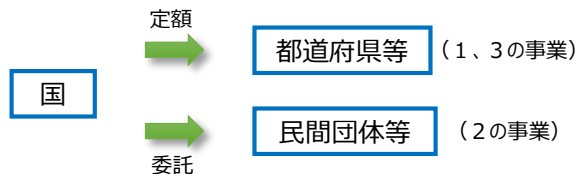
〔国土保全のためのシカ捕獲事業〕

➤ 奥地天然林等において、シカの行動把握等により、効果的な**わなの設置**による**効率的なシカ捕獲**を実施します。



【お問い合わせ先】 林野庁研究指導課 (03-3502-1063)
林野庁経営企画課 (03-6744-2321)

<事業の流れ>



2の一部及び4は国有林による直轄事業